

E2.新人を育てる 第1回アンケート集計

2021年度 研修終了報告

研修名 : E2.新人を育てる—第1回— (全3回)

実施日時 : 2021年5月27日(木) 8:30~17:00

講師 : 東邦大学理学部 教授 新保幸洋

方法 : オンライン形式 (ZOOM 使用)

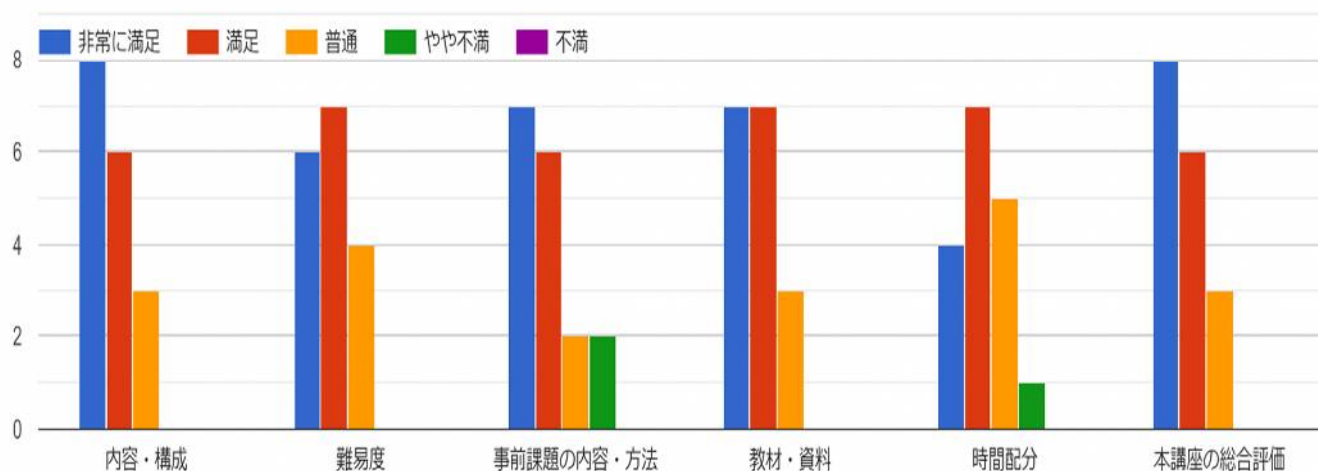
参加者 : 21名 (大森 14 大橋 4 佐倉 3)

目的 : 成人学習の原理・原則・方法を理解し、東邦大学の看護を担う看護師を育成するリーダーとしての役割について考える

- 目標
- ①成人学習の原理原則を踏まえた教育・指導の在り方を理解することができる
 - ②東邦大学および各看護部の理念に基づいた新人教育を理解することができる
 - ③教育方法・環境について所属部署の現状を分析・評価し、新人教育担当者としての自分の役割を考えることができる

【受講者アンケート結果】 n=17 回答率 81%

講座内容



■学びになったこと・興味深かったことなど (抜粋)

- ・ロールプレイを通して、新人の時の気持ちや考え方を思い出すことができた。また、新人の育ってきた背景からくる考え方を学ぶことができました。
- ・新人の指導に活かすことができそうです。
- ・今、実際にリアリティショックに直面している新人がおりどのように解決していったら良いか悩んでいます。その点についても講義で聞くことができて良かったです。また、育ってきた環境が成長にも影響するという内容がとても興味深く、まずは相手を知るところから始める必要があるのだなと思いました。
- ・成人学習について

E2.新人を育てる 第1回アンケート集計

- ・改めて新人の背景も考えること。コロナ禍での勉強事情や現場で直面する葛藤など
- ・ロールプレイで取り上げていた事例は自分も出会ったことがある場面であり、振り返りをしながら、新人の気持ちを考え、どう対応すれば相手のプラスになるのか…といった点を考える良い時間となりました。
- ・指導者の立ち居振舞いや考え方は新人の成長に大きくかかわるのだと感じられたので、残りの研修を通して指導者の在り方について考えられたらと思います。
- ・新人の特徴やどのようにアプローチするかが分かりやすく学びになる
- ・講師の先生が受講生のお話をじっくり聞いて、フィードバックする姿そのものが勉強になりました。
- ・新人教育者としての活動について具体的にイメージできてきました。また病棟の新人に対するサポート体制を評価し介入することも同時に必要であることを知り、先輩看護師への介入の視点についても理解できました。

■意見・感想など（抜粋）

- ・自分が指導された方法や経験で新人に接してしまうことがあったが、新人個人の特徴を見極め、関わり方を変えていく必要性を学んだ。振り返りの時に必要な内容を知ることができ、今後の参考にしたいと思った。
- ・1年目の気持ちを理解することは実際には難しいことですが、ロールプレイを行うことでイメージがやすく、貴重な体験でした。
- ・新型コロナウイルスの影響下で集合教育が難しい中でも研修を工夫して企画、運営していただき本当にありがとうございました。

■まとめ

本研修は、全3回シリーズの1回目として開催した研修でした。午前中は、東邦大学理学部の新保幸洋先生の講義で、教育の原理原則や若者の特性、新人と接する際に理解しておくべき事項などについて学びました。午後からは、受講者が事前提出した新人指導場面の事例を基に、新人役・指導者役・観察者役をそれぞれが体験するロールプレイと講師による解説をしました。受講者アンケートの結果、講義やロールプレイを通じた学びが多く記載され、全体的な研修満足度も8割以上が「非常に満足」「満足」と回答しており、効果的な研修だったと考えています。

なお、本研修内の講義は動画視聴でしたが、映像・音声について聞きしにくかったという意見を複数いただいています。今後の課題として解決に向け検討していきます。